

ひばり

11月

令和7年10月31日
特別支援教室「ひばり」NO.7
府中市立府中第三小学校
拠点校校長 関 修一

秋の涼しさや爽やかさが感じられる季節になってきました。しかし、朝晩の気温差が大きい日もあり体調を崩しやすい時期でもあります。衣服の調整や手洗い・うがいをしたり、体をゆっくり休めたりしながら元気に過ごせるように体調管理を心掛けていきたいですね。



＜ひばり 11・12月の予定＞

11月の予定	12月の予定
13日（木）相談日	2日（火）指導なし
14日（金）調整日	5日（金）午後指導なし
26日（水）～28日（金）相談日・調整日	22日（月）2学期指導終了
※調整日は、通常の指導はありません。指導回数が極端に少ないグループの指導を行います。指導を行う場合は、連絡ファイルを通してご連絡します。	12月下旬 「ひばり」個人面談
	<p>個人面談アンケートのご提出ありがとうございました。 面談の日時については、 後日、個別にお知らせを配布します。</p>

※学校の予定は、各校の学校だより・学年だよりで確認をお願いします。行事等の関係で、「ひばり」の指導と重なった際には担任の先生とご相談ください。



	基礎	実践	発展
小集団	<ul style="list-style-type: none"> ○線路は続くよどこまでも ○相談学習「○○ビンゴ」 ○ハンカチ落とし ○パパ抜き ○だるま・ひこうき・ゆりかご ○四つ這いバランス ○長縄 	<ul style="list-style-type: none"> ○ピンチを切り抜けろ ○困ったときの発信（製作活動） ○だるま・ひこうき・ゆりかご ○しっぽ取り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ピンチを切り抜けろ ○困ったときの発信（ひばり縁日） ○コーン鬼ごっこ ○コーン守り鬼ごっこ
個別	○個に応じた学習	○個に応じた学習	○個に応じた指導

*小集団学習は、この中から児童の実態に合わせて活動を選んで学習します。



～「ひばり」理解授業～

今年度もひばりの理解授業を行いました。ひばりの授業を体験してもらいながら、ひばり教員からひばりでどんなことを学んでいるのかを伝えました。誰にでも得意・苦手があること、自分に合った学び方が人によって違うこと、お互い助け合って生活していくことで楽しい学校生活につながることが伝わったようで、嬉しく思いました。



～児童の感想～

- ・自分が頑張りたいと思っていることをしたり気持ちの勉強をしたりしていることが分かった。
- ・自分のことを知れるところだと分かった。
- ・クラスのみんなにひばりのことを知ってもらえて嬉しかった。
- ・誰にでも苦手なことがあると聞いて、安心した。
- ・人と人の違いはたくさんあって、その違いを理解できたらもっとみんなで仲良くできると思う。
- ・人にはいろいろな気持ちがあるから相手のことを考えて行動しなきゃと思った。

～基礎 気持ちの言葉「爆弾ゲーム」～

気持ちの学習として、しりとりをしながらの爆弾ゲームに取り組みました。ゲームの中で、「怖いよ。」「ドキドキする。」「安心した。」など自然と気持ちの言葉が出てきました。爆弾ゲームでは、「いいドキドキ」「いやなドキドキ」と同じ場面でも人によって気持ちが違うことも学習しました。気持ちの学習を通して、気持ちを言葉にすることで自分の気持ちが伝わった、分かってもらえたという経験につなげていきます。

～実践・発展 楽しく話そう～

話をするときに大切なポイント「相槌を打つ」のキーワードを学びました。

- Ⓐ 「あー、なるほど！」
- Ⓑ 「いいね！」
- Ⓒ 「うんうん、わかる！」
- Ⓓ 「えー、そうなんだ！」
- Ⓔ 「おー、すごい！」

お題に沿った話をする中で自然に相槌を使っている姿が多く見ることができました。

～かかわりタイム～

「かかわりタイム」は、友達と声を掛け合って自由に遊ぶことができる時間です。ひばりでは、意図的な場面だけでなく、自然なかかわりを促す場面を作っています。決められている活動ではできても、自由な場ではどう行動してよいか分からなかったり、自分のやりたいことを押し通し過ぎてしまったり、言い合いになったりする場面も出てきます。教員がその場でどうしたらよかったですを考えさせたり、よかったです行動を評価したりしながら、「友達と楽しく遊べた」という経験につなげています。2学期になり、教員が間に入らなくても楽しく遊べることや自分たちで時間を意識して遊ぶ場面が増えました。